

平成28年第4回木津川市議会定例会（12月13日）

一般質問通告書

1 森本 隆	
質問事項：想定外の災害時にどう備えていくのか	
質問要旨	<p>東日本大震災の津波で多くの児童の命が失われた、宮城県石巻市立大川小学校をめぐる訴訟で、学校側の過失が認定され、市に対して、約14億円の賠償を命じる判決が言い渡されました。昨年9月定例会での教育部長の答弁では「災害時は、学校保健安全法第26条に基づき、学校管理者、校長、園長が避難計画、避難訓練を実施する」という答弁がありました。</p> <p>下記内容について、質問します。</p> <p>(1) 大川小学校の訴訟判決を受けて、市の避難計画、避難訓練の見直しが必要だと思うが、見直しをされたのか。</p> <p>(2) 兵庫県では、本年度から、新任教職員に被災地での研修を開始している。市の災害に対する教職員の研修内容はどうか。</p> <p>(3) 避難所開設に関して、地区ごとに拠点避難所を指定し、拠点避難所から優先して、設備等を配備することが必要だと考える。</p> <p>特に、小中学校を避難所としている場合、高齢の方が避難される可能性が高い。高齢者の方のために、小中学校のトイレの洋式化が十分でない中、市の避難所になっている施設のトイレはどの程度、洋式化されているのか。</p>
質問事項：今後の財政見通しは	
質問要旨	<p>平成27年度の決算において、国民健康保険の決算額が想定以上に増加する等、高齢者や子どもたちの社会保障費のコストが年々増加している。</p> <p>市では、扶助費総額が平成20年度に26億7千万円であったものが、平成27年度は52億円と約2倍に増加している。</p> <p>そこで、現在の市の財政状況と今後の見通しについて、質問します。</p> <p>(1) 扶助費が平成20年度から平成27年度の7年間で、約2倍になった要因をどう分析しているのか。</p> <p>(2) 今後の財政見通しをみると、平成28年度が歳出のピークで、平成29年度から歳出が抑制される計画だが、主な政策の変化は何か。</p> <p>(3) 平成29年度の予算編成に際して、歳出を抑制するための考え方と手段は何か。</p>
2 山本 和延	
質問事項：行政地域制度の課題を問う	
質問要旨	<p>1 行政地域33カ所を区割りした基準は。</p> <p>2 平成21年4月1日の各行政地域ごとの人口は。また、現在の人口は。</p> <p>3 自治会や町内会に加入していない市民が増えているが、把握しているのか。</p> <p>4 各行政地域は、役員の構成や任期、連絡網に差異があるが、地域住民に情報は伝わっているのかまた、検証をしたのか。</p> <p>5 各地域との連携のもと、市政の円滑な運営を進めるには、地域の区割りも含めて、各地域の運営について、地域長会議等で話し合いをして、見直す必要があると考えるが。</p>
質問事項：行政地域からの要望への対応は	
質問要旨	<p>1 平成28年度の要望件数と対応実施数は。</p> <p>2 実施は単年度で完了しているのか。</p> <p>3 要望内容に沿えない回答書は毎年同じ内容か。また各地域での理解はどうか。</p> <p>4 回答書の内容を工夫して、各地域へ理解を求めて、連携を深める必要があると考えるが。</p>

3 森岡 譲	
質問事項：市道335号線の整備を急げ	
質問 要 旨	<p>市道335号線は木津町時代より、国道24号交差点から白山神社までを、シビックゾーンとして整備されるはずだったが、現在、関西アーバン銀行まで整備はできているが、それ以西は今後どうしていくのか。車両の通行も多く、さらに車体も大型化し、離合もスムーズにいかない時もある。また、歩道も狭く危険で、歩行者・自転車利用者・高齢者もこわごわ通っている。おまけに舗装も傷んでいて、振動も激しく、近辺の住民は夜も落ち着いて寝られないと訴えている。</p> <p>今後どういう計画なのか、次の点について聞く。</p> <p>(1) 今後、市道335号線の拡幅計画はあるのか。</p> <p>(2) 歩道の改修計画はあるのか。</p> <p>(3) 舗装の改修計画はあるのか。</p> <p>(4) 関西アーバン銀行前で、本年11月16日に大きな交通事故が発生した。今年になってその場所での事故は4件目である。今後の対策計画は。</p>
質問事項：空家を活用してみんなが集える場所を	
質問 要 旨	<p>古民家等を活用し、木津川市に訪れる人たちや、地域の人たちが気楽に集まって交流できる場所として、利用できるようなことを、市として考えてはどうか。</p> <p>次の点について聞く。</p> <p>(1) 空家調査で古民家（昭和20年・30年代）といわれる建物はあったのか。</p> <p>(2) 空家で修理をすれば、使用できる建物で、貸出しをしてもらえる物件があれば、借りて利用するようなことはあるのか。</p>

4 高味 孝之	
質問事項：政策提言・付帯意見の対応は	
質問 要 旨	<p>本年9月の決算特別委員会において、平成29年度予算編成への政策提言として、「基金果実を活用した「市民公募型協働事業」を創設し、平成29年度執行に取り組むこと」が全会一致で可決しました。</p> <p>また、これまで数多くの付帯意見（コミバス・委託事業の改善・土地取得費・給食センターのあり方等）が提出されました。</p> <p>法的拘束力がないので放っておいてもいいとの声も漏れ聞きますが、これまでの政策提言や付帯意見について、どのような取り扱いをされたのか（政策会議で協議等）お答えください。</p> <p>また、議会の意志決定をどのようにお考えなのかもお答えください。</p> <p>そして、個々の事業の進捗状況や進まない理由もお答えください。</p>
質問事項：事故多発地点の改善が不十分では	
質問 要 旨	<p>以前から庁舎西側の市道335号線との交差点では事故が多く、私も一般質問で取り上げました。そのときも事故が起り、道路に大きく「とまれ」の標示がされました。</p> <p>しかし、それから数件の事故があり、最近も大きな事故が起りました。</p> <p>どこに原因があるのか、今後の速やかな対策が必要だと考えますが、対策をお答えください。</p>

5 九社前 聿朗	
質問事項：市民と職員の健康増進対策は	
質問 要 旨	<p>1 本庁舎の両入口に受動喫煙防止対策の貼り紙が目立たないように貼ってあるが、誰のための貼り紙か。</p> <p>次の項目について、問う。</p> <p>(1) 木津川市職員の喫煙者の人数は。（本庁舎職員人数、支所職員人数、保育所職員人数等）</p>

質問要旨	<p>(2) 各分野の事業管理者は、各職場において、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるよう努めているのか。</p> <p>(3) 職員などの喫煙者が禁煙の学習指導や健康指導はできるのか。責任者各位に明確な回答を願う。</p> <p>(4) 内閣府は、東京オリンピック・パラリンピックまでには、屋内完全禁煙化を実現するよう検討を進めている。本市の状況は。総務部長に問う。</p> <p>2 ストレスチェック制度が創設され、本市では努力義務から義務付けされて、8カ月が経過した。その検査体制について、問う。</p> <p>(1) 前年同月比で検査体制は確立したのか。</p> <p>(2) 上司や医師との面接指導等の状況は。</p> <p>(3) メンタル不調に陥る前に対処できているのか。</p>
質問事項：食育の推進施策を問う	
質問要旨	<p>近頃の子どもの食生活の乱れで平成17年に食育基本法が制定され、平成18年に食育推進基本計画が策定された。栄養教諭が中心で学校給食を行うことや、食に関する実践的な指導を行うこと、学校給食において地域の産物を活用することが明記されている。「食育」とは、成長期にある子どもにとって、健全な食生活が健康な心身を育むために欠かせないものであり、一生の食習慣の基礎となるものである。</p> <p>ところが本年9月定例会において、山城学校給食センターの廃止を含む委託による2つの給食センター体制確立のための、URの土地を購入する補正予算が可決された。</p> <p>そこで、下記事項について問う。</p> <p>(1) 山城地域の小学校・中学校、栄養教諭、学校給食センター運営委員会の中で、廃止の事案が事前に話し合われたのか。</p> <p>(2) 食物を大事にし、生産等に関わる人々への感謝の心が一番表れる給食の残量率を比較すると、山城学校給食センターの給食が一番優秀で、食育基本法の目標を達成している。木津川市教育委員会は、食育推進に取り組んでいる優秀なセンターをなぜ廃止するのか。</p> <p>(3) 山城学校給食センターは、地域の生産物、食文化やお茶の歴史等を理解し、尊重する心の食育教育を実施している。また青果類の地産地消の活用や衛生管理の徹底に取り組んでいる。</p> <p>栄養教諭を中心に栄養職員、保護者、生産者、校長、学校給食センター所長等さまざまな方の意見を聞き、山城学校給食センターの施設の改築、厨房設備更新および修理など必要な措置を講じてきたのか問う。</p>
質問事項：異文化交流について問う	
質問要旨	<p>1 京丹後市と木津川市は、友好都市盟約を締結されているが、京都府の最北端と最南端の幅広い分野での交流・連携を深めている。住民福祉の増進や文化交流にどのように結びつけていくのか問う。</p> <p>2 京丹後市ホームページの京丹後市多文化共生推進プランを見て、本市のホームページ等の記載情報量が少ないと感じる。京都府北部市町の中で国際交流協会の活動はトップクラスと聞いているが、木津川市の活動はどうか。</p> <p>3 国際交流によるまちの活性化が叫ばれているが、文化財が多い本市において、東京オリンピック・パラリンピックに向けての観光客誘致の具体策はあるのか問う。</p>

平成28年第4回木津川市議会定例会（12月15日）

一般質問通告書

1 酒井 弘一	
質問事項：行政地域制度の「見直し」	
質問 要 旨	<p>市は、現在複数人の副地域長を置く行政地域に対して、副地域長は1人に限定するよう、期限を切って求めている。</p> <p>これは正当な理由があるのか、また本当に必要なことなのか、甚だ疑わしい。</p> <p>そこで、伺う。</p> <p>(1) 副地域長を1人にするよう、市が求める根拠は何か。また、副地域長を1人にそろえることで市と地域にどのようなメリットがあるのか。</p> <p>(2) 市行政地域設置条例第2条第4項において、「行政地域に地域長を補佐するため、副地域長を1人置く。ただし、行政地域の状況に応じ、市長の承認を得て副地域長副数人を置くことができる」とある。この間の市から地域長等に行っている「1人の副地域長」の指導は正当性があるか。</p> <p>(3) 行政地域制度を制定した平成21年3月議会では大激論が繰り広げられた。そこでは何が問題になったと市は認識しているか。行政の勇み足、強引さに対して議会から付帯決議まで出された。全体として、自治への介入、説明不足や合意形成の不足が問題ではなかったのか。その教訓に照らして、期限を切って強引に進めるやり方はやめるべきだ。</p>
質問事項：市の国際交流活動	
質問 要 旨	<p>アメリカのカリフォルニア州サンタモニカ市へ中学生を派遣する事業は、旧木津町時代を含めて18年を数えた。今年度、市長はその中学生派遣をスムーズに行うこと、また永続化をも目的に、サンタモニカ市との姉妹都市盟約を締結しようとしている。</p> <p>そこで、伺う。</p> <p>(1) 今年度の中学生派遣の12人の構成、引率者、9日間の行程などを明らかに。また、報告集はどのように活用されているか。</p> <p>(2) 派遣中学生の選考はどのように行われたか。</p> <p>(3) 木津川市において国際交流の目的とするところは何か。また、どのように行われているか。中学生12人をサンタモニカ市へ派遣することと市の国際交流との整合性はどうか。</p>
質問事項：生活道路の維持補修	
質問 要 旨	<p>市は年間約5,500万円の予算を組んで道路の維持補修を行っている。しかし、この間、国の道路補修予算が削減される中、市の取り組みは計画を達成できていない年度が続いている。</p> <p>そこで、伺う。</p> <p>(1) 市の道路維持計画はどうなっているか。（計画距離と実績など）</p> <p>(2) 国の補助金が削減された結果、計画の遂行はどのような影響を受けているか。</p> <p>(3) 市民から出されている道路維持要望に思い切った予算措置を。</p>

2 河口 靖子	
質問事項：里山の地域活性化策を進めるべき	
質問 要 旨	<p>市長のスローガンは「まちの魅力を最大限に生かし、ひともまちも元気で生き生きと輝くまちづくり」と常に語られています。いよいよ10年目を迎えるこの節目、振り返ってみますと実現できていることも多くありますが、過疎地になっていく里山地域を見渡しますと、いまだに未整備になっている事柄と言えば森林整備です。</p>

質問要旨	<p>平成23年9月定例会では「森林整備の行政補助について」を一般質問いたしました。その折、市長は「整備はボランティアの方に補助金を出しながら、みんなで支える制度が必要である。全国の例をみながら問題解決の検証をしてみたい」との答弁でした。</p> <p>さて、この質問から5年が経過した現在では、松枯れ、ナラ枯れ等、森林の荒廃は以前に比べて悪化してきているため、何か対策を考えなければとの思いでおります。そこで再度、森林整備後の活用を提案したいと考えて、以下のことを問います。</p> <p>(1) 「整備はボランティアの方に補助金を出しながら、みんなで支える制度が必要である。全国の例をみながら問題解決の検証をしてみたい」との答弁でしたが、検証された結果は。</p> <p>(2) 森林整備後は、森林の癒し機能を活用してストレスの解消や健康増進等の活動を展開するための「森林セラピー基地」・「セラピーロード」をつくり、新たな地域活性化策として取り組む考えは。</p>
質問事項：上下水道事業の経営改善を	
質問要旨	<p>本年8月3日（水）組織改革、民間委託を進め、人件費削減や経費の縮減で大きな成果を収めている静岡県三島市で会派行政視察を行いました。</p> <p>また、10月21日（金）産業建設常任委員会で石川県かほく市へ「上下水道施設の包括的民間委託」について、行政視察を行いました。</p> <p>かほく市では国土交通省が推奨する「包括的民間委託」により、民間事業者が有するノウハウ・技術力を積極的に活用することにより「コストの縮減」「維持管理水準（サービス品質）」を併せて確保されています。</p> <p>本市においても、人件費や経費の縮減を行い、市民にはできるだけ公共料金の負担を軽減するための施策が必要です。</p> <p>そこで、研修で学んだことを踏まえて、以下のことを問います。</p> <p>(1) 上下水道事業を1部1課制に。</p> <p>(2) 上下水道施設管理の「包括的民間委託」への移行を。</p> <p>(3) 大学教授、弁護士、会計士等による「包括的民間委託審査委員会」の設置を。</p> <p>(4) アセット・マネジメントおよび水道ビジョン改定業務の内容は。</p>

3 炭本 範子	
質問事項：子どもの虐待について	
質問要旨	<p>児童福祉法の一部が改正され、平成28年6月3日に公布され、平成29年4月1日施行としています。児童福祉法の理念を明確化し、母子健康包括支援センター（子育て世代包括支援センター）の大きな展開や市町村および児童相談所の体制の強化、里親委託の推進等の措置を講ずるとしてしています。</p> <p>全児童が健やかに成長するにはどうするか、児童虐待をなくすためにはどうすべきか。現状の取り組みと来年度の取り組みについて、お聞きします。</p> <p>(1) 児童虐待と認められる件数は。</p> <p>(2) 児童虐待の発生時の対応はどうしているか。</p> <p>(3) 要保護児童対策地域協議会の開催の内容は。</p> <p>(4) 支援を必要とする児童、家庭をどう把握しているか。（方法）</p> <p>(5) 里親支援の取り組みは。</p>
質問事項：木津川市お茶の京都博を成功させるには	
質問要旨	<p>平成29年度は「お茶の京都」のターゲットイヤーであり、市としても全国に、また世界に広くアピールするチャンスでもあります。</p> <p>(1) 1年を通して広域的な事業であり、市が関わるイベントは何か。</p> <p>(2) 市が実施するイベントの開催日時や内容など具体的に示してください。</p> <p>(3) 府からの財政支援はどのようになっているのか。</p> <p>(4) 将来を見据え、交流人口を増やし、地域経済など活性化を生むために、どう実施しますか。（例えば民泊の経営を推進、お茶関連商品の開発など）</p>

質問事項：サイクリストや住民の安全のために	
質問 要 旨	<p>自転車の利用は近年増えてきました。節電意識の向上、健康意識の高まり、趣味の領域など多彩な広がりがあります。自転車で長距離を走ったり、気ままにブラブラと散歩する「ポタリング」が流行しています。本市においても見られるようになりました。</p> <p>安心・安全で快適に自転車を利用し、市内を走ってもらうために、どうすればよいかお聞きします。</p> <p>(1) 木津川アートでは交通手段として、自転車で会場を回る企画がありました。成果と問題点について、お聞きします。</p> <p>(2) 隣町では観光客の誘致が盛んで、サイクリストが増加しています。木津川市を通過するので、走行する姿を日々目にしています。市道を走られるときに、カーブ等では安全のため住民に対しての看板が必要ではありませんか。</p> <p>(3) 市内観光地のサイクルロードやポタリングマップを作成してはどうですか。</p> <p>(4) 今後、自転車ネットワーク計画を策定する必要があるのではないですか。</p>

4 西山 幸千子	
質問事項：既存施設を生かす新給食センターを	
質問 要 旨	<p>本年9月定例会で、新給食センター用地購入のための補正予算が提案され、今期定例会では契約議案が提案されました。木津学校給食センターの改善が必要であることの実現はできませんが、奈良市と隣接し、ほぼ市の最南端に位置している計画用地では問題が多くあります。</p> <p>新センターとの2センター体制になった場合に、加茂学校給食センターで行なわれているアレルギー対応食の縮小が検討されています。食べ残しが少なく子どもたちにも喜ばれている山城学校給食センターの廃止につながる新センター計画は撤回し、食育を中心に据えた給食の提供を行なうべきです。</p> <p>(1) 新センターから各学校への配食時間をどう考えていますか。具体例として、木津川台小学校・棚倉小学校へ運ぶ場合のルートと時間配分（2時間喫食）の説明を。</p> <p>(2) 新センター案では、取り扱い食数を7千食に設定しています。その場合は同じ献立で行うのですか。リスク管理を含めて、危機管理面でどのような対策を考えていますか。</p> <p>(3) 新センター案ではアレルギー対応を特に強調していますが、現状の3センターでの対応はどのようなものですか。対応しているアレルギーの種類、除去食、代替食、人数、提供数など詳細に説明してください。</p> <p>(4) 新センターでのアレルギー対応の種類はどうなりますか。</p>
質問事項：保育士の待遇改善を進めよ	
質問 要 旨	<p>市では待機児童対策を進めてきて、本年4月には「待機児童ゼロ（国基準）」が続き、一定の改善が見られていました。しかし、年度途中では待機児童が出てきており、11月には待機児童が全体で100人を超えました。</p> <p>合併後、市は民間保育園の誘致で待機児童対策を進めてきました。公立保育園の統廃合と民営化を進めるために、保育士の積極的な採用がなされずに、正規職員の割合が3割にまで下がりました。園によって、アルバイト保育士のサービス残業の改善がされず、負担が多いところがあると聞きます。正職員を増やすことで、非正規職員の負担も減り、短期離職が改善されます。</p> <p>(1) 市が考える待機児童対策と今後の見通しは。</p> <p>(2) 保育園運営に携わる園長・園長補佐の事務処理等の負担軽減のためにも、また保育の充実のためにも正職員の保育士を増やす努力をすべきだと考えますが、現状を含め、どのように認識していますか。</p> <p>(3) 京都府最低賃金の改正に伴い、非正規職員の時給アップを考えていますか。また必要な残業代はきちんと支払うべきだと考えますが、改善策は。</p>

質問事項：木津川アートから「聖地」の誕生へ	
質問 要 旨	<p>今年は5回目の木津川アートが行なわれ、来場者が1万人を超えたとの報道がありました。年数をかけて、ボランティアの参画・協力で、「木津川アート」の知名度も上がりました。ただし、せっかく木津川市を訪れた人たちに、アートの開催時だけでなく積極的に木津川市に足を運んでもらえる企画が必要なのではないでしょうか。</p> <p>今、映画やアニメに出てくる場所が「ロケ地めぐり」として人気を博し、年齢を問わずに新たな観光地となっています。井手町では「神さまの轍（わだち）」、笠置町ではボルダリングをテーマにした映画「笠置ROCK」で、町を盛り上げる企画があります。</p> <p>木津川アートからの発信、また映画のロケ地などにも積極的に手を挙げて「聖地」を誕生させてたくさんの人に木津川市を訪れてもらう、一歩踏み込んだ計画を進めてみてはどうでしょうか。</p>

5 宮嶋 良造	
質問事項：要支援者の新総合事業	
質問 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 国は介護保険制度のさらなる改悪を計画している。市長は、何がどのように変えられようと認識しているか。介護保険制度の改悪をやめよと表明するとともに、国に申し入れよ。 2 来年4月から要支援者が介護保険の給付対象から外される事業は何か。 3 新総合事業の費用は、後期高齢者数の伸び以下に抑えられるのか。それは安上がりの介護ではないのか。既存の介護事業所による「専門的サービス」とボランティアなどの「多様なサービス」に分けられるというが、その具体的な内容はどうか。「多様なサービス」により「安上がりサービス」への流し込みが起こるのではないか。 4 新制度では、要介護認定を受けさせない「水際作戦」が起こりうるのではないか。 5 「新総合事業」の適用を受ける人に「自立の促進」をすすめられるのではないか。 6 「安上がりサービス」ではなく、これまでどおりの介護サービスを提供すべきだ。
質問事項：国保の府一元化	
質問 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 繰り上げ充用した今年度国保会計の収支は今の時点でどうか。 2 現在、国保の府一元化はどこまで進み、何が決められたのか。標準税率が示されれば、それに合わせるのか。国保税は値上げせず、不足分は一般会計から繰り入れよ。 3 人間ドックの制度はこれまでどおりとせよ。葬祭費は7万円に引き上げよ。短期国保証の「短期」の朱書きをなくせ。
質問事項：身近な駅施設の改善を	
質問 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 北陸新幹線舞鶴・南部ルートは最も費用がかかり、採算が合わない。なぜこのルートを求めるのか。北陸新幹線京都府南部ルート誘致促進同盟会から脱退せよ。 2 市内の鉄道駅では人員削減、無人化が進んでいる。市長はこの事態をどのように捉え、改善しようとしているのか。 3 JR上粕駅の男女共用でくみ取り式のトイレなど、至急に改善が必要な身近な駅施設の改善を進めよ。
質問事項：エアコン整備を実施せよ	
質問 要 旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 普通教室、特別教室のエアコン設置の状況を小中学校別に示せ。 2 京都府のエアコン設置率の平均と大きな開きがあることを、教育長と市長はどう思うのか。具体的な整備方針をいつ示すのか。 3 新年度予算に小中学校のエアコン整備を予算化せよ。

平成28年第4回木津川市議会定例会（12月16日）

一般質問通告書

1 西岡 政治	
質問事項：老人福祉センター条例等の見直しを	
質問 要 旨	<p>本市には、3カ所の老人福祉センター、2カ所の文化センター、3カ所の交流会館、1カ所のコミュニティセンターが市民生活の向上、社会福祉の増進、コミュニティ活動の推進等を目的に設置されています。また、円滑な管理運営を行うため設置条例が定められています。</p> <p>いずれの施設も、市民にとって使い勝手がよく、行き届いたサービスが受けられることが望ましいと考えます。</p> <p>市では、利便性の向上、行き届いたサービスを提供するため、地方自治法の一部改正に基づき、合併以前から指定管理者制度を導入し、現在、各施設の管理業務は指定管理者が行っています。しかし、市老人福祉センター条例が足かせになって、民間活力を生かし切れていないのではないかと考えます。</p> <p>そこで、利用時間、休館日の見直し、運用について、たゞします。</p> <p>(1) 各施設の利用時間と休館日は。</p> <p>(2) 日曜日の利用状況は。</p> <p>(3) 山城老人福祉センターの休館日の見直しを（なぜ日曜日が休館日なのか）。</p> <p>(4) 第5条において、利用時間と休館日に弾力運用規定が設けられている。</p> <p>① 「市長は、特別な理由があると認めるときは・・・」とあるが、それはどのような場合か。</p> <p>② その手続きと手順は。</p> <p>(5) やすらぎコミュニティセンターとやすらぎ苑の一体的な管理運営で、施設の有効活用が可能では。</p>
質問事項：高の原イオン増床計画の進捗状況と市の考えを問う	
質問 要 旨	<p>平成26年2月21日独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」という。）の所有する相楽地区センター用地をイオンモール（株）・大和ハウス工業（株）・近鉄不動産（株）の共同企業体が取得して2年9カ月が経過しました。</p> <p>イオンモール（株）は、相楽地区センター用地取得にあたり、提案した「地域の経済社会貢献」のための地元農産物直売所および図書館の設置に向け、市との話し合い交渉が進められていると考えます。</p> <p>私は、共同企業体が取得以降、2回の一般質問、会派代表質問で市の対応・考え方・取り組み等について質問をしました。</p> <p>そこで、これまでの質問に対する行政側の答弁を踏まえ、次の事項をたゞします。</p> <p>(1) 増床棟のオープンの時期は。</p> <p>(2) 増床計画の中に、農産物直売所、図書館スペースは。</p> <p>(3) 農産物直売所への出店に向けての取り組み状況は。</p> <p>(4) 出店事業者に対する財政支援策は。</p> <p>(5) 図書館分館設置に対する方針は。</p> <p>(6) 図書館分館と市民課西部出張所との統合は。</p>

2 島野 均	
質問事項：災害発生時における避難所運営で伺う	
質問 要 旨	<p>今年夏の台風、大雨による災害は、全国各地で大きな被害をもたらした。熊本地震では避難所運営に多くの自治体職員が関わったことにより、全体としての災害対応に支障がでた。災害対策基本法に基づき、地域防災計画で災害発生に備え、災害対策そして避難所運営マニュアルが整備されている。</p>

質問要旨	<p>そこで、以下のことを伺う。</p> <p>(1) 初動期の避難所で、避難者の中から代表者を選び、運営組織をつくとあるが、現状は。</p> <p>(2) 避難所運営マニュアルに基づく、避難所運営の訓練の実施状況は。</p> <p>(3) 災害発生後、市のボランティア等の受け入れ体制、そして避難所支援班はどのように組織され、災害時にはどのような動きとなるのか。</p> <p>(4) 災害が発生して、自治体職員が初動期の避難所運営に携わったケースがあり（台風10号で被災した岩手県岩泉町）、このことは円滑な災害対応に影響を及ぼしかねないことで、職員の動きを再度点検し、住民の安全確保を期すべきと思うがどうか。</p> <p>(5) 福祉避難所の周知徹底はされているのか。</p>
質問事項：肢体不自由児の「特別支援学級の新設」を求める	
質問要旨	<p>来年、州見台小学校へ入学を希望する配慮を要する幼児が、学校生活を送れるように願う。</p> <p>現在、保育園においては1名の保育士加配がついており、学力面においては問題はないが、遠足や体育活動では体力、時間的に困難な面も見られる。</p> <p>集団活動では加配補助が付いているので、他の園児と同様に活動できるが、補助がなければ、園児との接触により大きな事故、けがに至る場合が考えられる。来年入学を希望する州見台小学校においても同じことが想定されるので特別支援学級（肢体不自由）の設置を求める。</p>
質問事項：雑草対策で伺う	
質問要旨	<p>1 市道、小中学校、公共施設内の雑草はどのように除去を考えているのか。また、防草シート、砂利を敷く、ヒメイワダレソウ等の草を植えるなど、対策の現況は。</p> <p>そして雑草除去費用は市全体でいくらか、除去費用を削減できるような取り組みを考えているのか。</p> <p>2 民間の空き地での雑草対策の現況、年間苦情件数、またその処理方法は。</p>

3 森本 茂	
質問事項：JR木津駅東側の城山台を含む地域の諸課題について	
質問要旨	<p>本年9月定例会で、市はUR都市機構から、木津中央地区、城山台九丁目1番（面積45,970㎡）を取得する議案が提出され、可決いたしました。市はこの土地を今後は、開発して、有効利用を図ると説明していますが、10年ぐらい先に、どのような開発を考えているのか、お聞きします。</p> <p>また、JR木津駅東側の農地は、今後のまちづくりにとって、数あるベストディストリクト（一等地）の1つと確信しております。そして、それを確実なものにするには、木津川に、この地域の全ての水を放流するため、「小川放水路」を別のルートとして、ぜひとも新設する必要があると考えます。</p> <p>ルートとしては、京都府山城広域振興局木津総合庁舎の西側を通り、上津橋で西に曲がり、ソフトバンクテレコム東側を通り、府道天理加茂木津線の地下を通し、吉川医院の東側を通り、市営住宅重衡団地と木津川の堤防地下ずい道を通り、木津川に放流する「小川放水路」の新設を提案いたします。</p> <p>今、具体化に向けて立案する時がきたと思いますが、市長のご見解をお伺いします。</p> <p>また、城山台の商業地域への事業者誘致はどこまで進んでいるのですか。そして、そのスーパーが木津川市の地元になじんでいただくために、市はどう関わろうとしているのですか。お聞きします。</p> <p>また、京大農場との連携はどのようにするのか、お伺いいたします。</p>
質問事項：木津城（平城）はどこにあったと考えているのか	
質問要旨	<p>旧木津町には分かっているだけでも鹿背山城、上野山城（城山台、現在この城が遺跡名では木津城となっている）、吉田城（山田川駅東側）、染山城（曾根山）等ありますが、資料にも何回も出てくる有名な木津城という平城（平地にある城）が存在したことも、歴史上間違いはないことです。</p>

この木津城は木津地域を支配した木津氏が城主の城でしたが、城は完全に破城（城を破壊）されて現地表からは明確な城跡の位置が確認できません。このことにより、昭和45年京都府の遺跡調査で城の専門でない府担当者が、上野山城を間違っ木津城と名付けたことが、ややこしくなる原因を作ったのです。上野山城は狭い城で、一辺が50～60m四方の単郭方形（曲輪が一つしかない）の城です。しかも平城でなく山城（やまじろ）なので木津城でないことは明白であります。では、木津城はどこにあったのでしょうか。

平成26年に京都府の城の悉皆調査報告書が出ましたが、そこには木津城は殿城にあったとしていますが、いかがお考えですか。

(1) いつ頃破城になったのか。
 (2) 木津城の形態はどんな城であったのか。
 (3) 木津城の規模はどれくらいなのか。
 (4) 木津城の位置はどこにあったか。

以上について、文化財保護課はどういう見解を持っておられるのか、お伺いします。
 同時にこのエリアの埋蔵文化財の発掘調査についてのスタンスについてもお聞かせください。
 木津城の痕跡・形跡を絶対見つけ出して見せるぞという哲学を持って、事に当たっていただきたい。なぜならば、木津城は、木津川市シティプロモーションの1丁目1番地であるからです。
 市長の見解をお伺いします。

質問事項：市制10周年に向けて

平成27年6月定例会ならびに本年9月定例会でも質問しておりますが、市制10周年を契機にサンタモニカ市と友好都市の盟約締結には、大いに賛同いたします。

そこで、両市の発展にとって、市長はどのような具体的ビジョンをお持ちで、どう取り組もうとされているのか、お伺いします。

そして、以前より提案いたしております「七夕祭り」の復活についてであります。市民の皆さんならびに若者たちから「署名運動で署名集めたら市長さんは、七夕祭り復活してくれるかなあ、そうやったら署名集めるで」との訴えも聞いております。

「七夕祭り」は同級生や友人、知人と再会する「出会いの機会」でもあり、「街コン」の場そのものです。また、小さい子どもさんには「思い出」、親やお兄ちゃんお姉ちゃんと屋台で買って食べた食べ物やゲームに興じたことが「良き故郷の思い出」の1コマとして、いつまでも脳裏に残るものです。ぜひとも「七夕祭り」の復活に取り組んでいただきたい。市長の見解をお伺いします。

また、この市制10周年を盛り上げ、職員の意識改革の一助にできないかということで、ブレザーをやめて、ポロシャツ、Tシャツ、トレーナー方式の服（上着）にして、前面もしくは後面に、市制10周年にふさわしく、職員のメッセージや文字を印刷したものを全員着用してはどうでしょうか。職員の士気も高まり、また式典で市民にも販売してはどうですか。
 市長の見解をお伺いします。

そして、以前にも提案いたしました「城山台の配水池」についてですが、「ネーミング・ライツ（命名権の売却）+配水池の壁面にアート施す」ことも含めて一般公募してはどうでしょうか。
 市長の見解をお伺いします。

質問事項：恭仁山荘をシティプロモーションに活用せよ

京都帝国大学（京都大学）教授で東洋史学の基礎を築いた内藤湖南先生（1866～1934年）が隠居の地として晩年を過ごしたのが、「恭仁山荘」（木津川市加茂町例幣）です。市長は内藤湖南先生ならびに恭仁山荘について、ご存じでしょうか。

恭仁山荘は、内藤湖南先生が京都帝国大学の定年退官を機に、学問の集大成に取り組める静かな場所として、1927年に建設された邸宅で、亡くなるまでの7年間を過ごされました。学問や対中政策などの意見を聞きに多くの方々、そして、満州国皇帝（ラストエンペラー）の溥儀（ふぎ）氏の弟溥傑（ふけつ）氏も訪ねておられたのは有名です。

恭仁山荘は、1983年（昭和58年）書籍約3万3千点とともに関西大学に譲渡され、セミナーハウスとして利用されていましたが、消防法の強化により宿泊施設として、不適格となることから、大学は2012年（平成24年）3月からセミナーハウスとしての使用をやめ、「恭仁山荘」の看板も下ろされました。

質問要旨	<p>今後の利用目的がはっきりしていない中で、現在、恭仁山荘を守る有志の方々に、庭の草木の掃除などをボランティアで行っていただいている状況です。</p> <p>私は、関西大学が、恭仁山荘の活用の案がないのであれば、ネーミング・ライツ（命名権の売却）の方法で民間企業等に公募して、市と協議で加茂地域のシティプロモーション（浄瑠璃寺～岩船寺～海住山寺～恭仁山荘という観光ルート）に活用していただきたい。</p> <p>また、内藤湖南先生の書籍等は、まだ加茂図書館にも多数ありますし、加茂地域の個人の方も、お持ちであると聞いておりますので、恭仁山荘にお貸ししていただければと思います。</p> <p>「恭仁山荘」の活用を市長はどのようにお考えか、お伺いします。</p>
質問事項：待機児童対策と保育園の諸問題について	
質問要旨	<p>市内の保育園待機児童が、11月11日現在で100人を超えています。保育園の待機児童については、木津川市全域が保育の提供区域となっていると聞いていますが、まず、地域ごとの待機児童の数をお聞きします。</p> <p>市は保育園の民営化と「認定こども園」の新設、「認定こども園」への看板の掛け替えを進めています。直営では、国と府からの補助金がなくなったためです。</p> <p>市は、木津川台に219人の保育園児を預かる認定こども園（藍咲学園）が平成29年4月1日より開園するので、待機児童は解消されるとしていますが、それで根本的解決になるのでしょうか。今後の待機児童対策について、お伺いします。</p> <p>また、今期定例会に「市外の保育園への委託」に関する請願が出ておりますが、広域入所制度等について、市の見解をお伺いします。</p> <p>次に、民間保育園には、警察への緊急通報装置や防災行政無線が設置されていません。今すぐ設置すべきではありませんか。そしてまた、園にはAED（自動体外式除細動器）が設置されていません。保育園児にはAEDは、そぐわないとのことだと思いますが、園の近くで倒れた方が、公的施設にはAEDがあると思ひ、園に飛びこんでこられるかもしれません。</p> <p>また、運動会や発表会に親や高齢者の家族の方も見にこられます。そのときにAEDが必要になるかもしれません。全ての園にAEDは設置すべきではありませんか。</p> <p>ご見解をお伺いします。</p>

4 高岡 伸行	
質問事項：運動部活動連携事業のその後は	
質問要旨	<p>市内中学校では、平成25年4月より在籍校に希望する運動部がない場合、その運動部がある隣接中学校に参加できる事業として、運動部活動連携事業をされています。</p> <p>そこで、お尋ねします。</p> <p>(1) 京都府教育委員会では学校の部活動を支援する専門職員を、平成29年度から配置されるようとしています。配置されるのは、国が平成29年度に制度を創設する（仮称）「部活動指導員」であり、今後、教員に代わり部活の指導や部員の引率を担うのは非常勤講師と聞いています。</p> <p>市の対応をお聞かせください。</p> <p>(2) 現在、個人種目（陸上競技・剣道・ソフトテニス・バドミントン・卓球）に限り、運動部活動連携事業が認められていますが、参加する生徒が少ないと伺っています。</p> <p>毎年、学校から保護者への周知は十分行われているとは思いますが、参加者が少ないことをどのように感じておられますか。</p> <p>(3) 参加する生徒が増えない主な要因として、参加校への移動は保護者の責任で（自転車での移動は不可）行うとの決まりがあるためだと思いますが、何か手立てを考へてはいますか。また、保護者からの要望も出ているとは思いますが、その対応は。</p>
質問事項：市内経済の振興策は	
質問要旨	<p>1 来年度、本格的に行われる「お茶の京都博」を視野に入れた「第4回ものづくりフェア」が先日、市役所住民活動スペースで行われました。多方面から異業種の事業所（店主）さんが出店された中、市役所に来庁された市民の方々にも「ものづくりフェア」を覗いていただけたのではと考へております。</p>

質問要旨	<p>そこで、お尋ねします。</p> <p>(1) 事前のPRは十分でしたか。</p> <p>(2) アンケートをとられましたが、その回収率は。</p> <p>(3) 次年度に開催予定である「お茶の京都博」に、どのように生かしていこうとされているのですか。</p> <p>2 山城地域を舞台に第5回目となる木津川アートが行われました。ラジオ・テレビでも取り上げられるまでに成長した木津川アートではないでしょうか。もちろん忘れてはならないのは、ボランティアスタッフの皆さんのお力添えのお陰だと感じています。</p> <p>そこで、質問します。</p> <p>(1) 訪問者の人数は、平成24年、平成26年と比較して増えていますか。</p> <p>(2) 今回、レンタルサイクルも取り入れられました。今後の観光事業において、非常に参考になることだと考えますが、お考えは。</p> <p>(3) この地域における課題のひとつである「環の拠点創出事業」に、今後つながるような仕掛けづくりも必要だと感じますが、そのお考えは。</p>
	<p>質問事項：プラネタリウム館の集客増加を目指して</p>
質問要旨	<p>本年6月定例会で、加茂プラネタリウム館の利用者増に向けてのPRの方法や、近隣市町村・観光協会との連携などの、集客率の向上に向けた質問をしました。</p> <p>すぐに利用者増に向けた効果が出るものではないと思いますが、その後の取り組みと経過は。</p>

5 長岡 一夫	
質問事項：市営共同浴場の環境整備を	
質問要旨	<p>本年11月4日、市営共同浴場の現地調査を会派で行った。</p> <p>施設の維持管理は行き届いていたが、今後、ろ過器の更新や和式トイレから洋式トイレへ、またタイルのはがれの修理、水道管の更新など環境整備が必要だと考えるが、市の取り組みは。</p>
質問事項：障害者福祉タクシー利用券とガソリン券の併用は	
質問要旨	<p>福祉の取り巻く環境も、以前とは変わってきました。</p> <p>そのような中、市は障害者福祉タクシー利用券にこだわっています。</p> <p>こだわる理由は分かりますが、今の現状を見ますと、ガソリン券との併用を考えるべきだと思いますが、市の考えは。</p>
質問事項：市役所の周辺整備は	
質問要旨	<p>市役所の周辺整備が進まない。</p> <p>市役所東側玄関の元住民票自動交付機の証明書発行スペース、旧木津町商工会跡地と建物、公用車を駐車してある市役所南側空き地などの有効利活用について、市はどのような計画を立てているのか。</p>

平成28年第4回木津川市議会定例会（12月19日）

一般質問通告書

1 柴田 はすみ	
質問事項：食品ロス削減の取り組みは	
質問 要 旨	<p>食べられる状態なのに捨てられる「食品ロス」は、家庭やスーパー、ホテルおよびレストランなどあらゆるところで見受けられる。農林水産省によると、日本では年間2,797万トンの食品廃棄物が発生しており、このうちの632万トンが食品ロスと推計されている。</p> <p>すでに先進的な自治体では、さまざまな食品ロス対策が行われてきている。長野県松本市では、宴会での食べ残しを減らすため、乾杯後の30分と終了前の10分は自席で食事を楽しむ「30・10運動」を進めている。また、NPOの活動としては、消費期限が迫った食品を引き取り、生活困窮者へ無償提供する「フードバンク」が有名だ。</p> <p>国連は、2030年までに世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させる目標を採択している。そこで、何点か問う。</p> <p>(1) 学校や幼稚園など教育施設における学校給食や食育・環境教育などを通して、食品ロス削減のための啓発を進めるべきであると思うが、現状は。また、今後の取り組みは。</p> <p>(2) 家庭における食品在庫の適切な管理や食材の有効活用の取り組みをはじめ、飲食店等における「飲食店で残さず食べる運動」や「持ち帰り運動」など、市民や事業所が一体となった食品ロス削減に向けての取り組みを進めることが重要であると思うが、どうか。</p> <p>(3) 災害備蓄品について、消費期限近くの食品を避難訓練などで市民に配っているが、フードバンク等への寄付等は考えていないか。</p>
質問事項：成年後見制度の利用促進について	
質問 要 旨	<p>認知症や知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方の財産管理などを行う「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が本年5月に施行された。成年後見制度が認知症の高齢者を支える手段でもあるに関わらず、十分に利用されていない現状がある。</p> <p>(1) 本市において、成年後見制度の対象となり得る認知症や知的障害、精神障害のある方の実態は。</p> <p>(2) 成年後見制度の利用状況の推移は。</p> <p>(3) 成年後見制度の周知、啓発は。</p> <p>(4) 木津川市社会福祉協議会が実施している福祉サービス利用援助事業の利用状況の推移は（成年後見制度に移行された件数も併せて伺う。）</p> <p>(5) 木津川市成年後見制度利用支援事業における市長申立件数と後見人への報酬助成件数の推移は。</p> <p>(6) 成年後見人の担い手確保についての考えは。（市民後見人の養成や法人後見のあり方など。）</p> <p>(7) 権利擁護センター（仮称）の設置の考えは。</p>
質問事項：高齢ドライバーの事故をどう防ぐ	
質問 要 旨	<p>高齢ドライバーによる事故が後を絶たない。過去5年間の高齢者の交通事故のうち、約4割は信号無視や一時不停止、不十分な安全確認といった重大事故に直結する原因により発生している。「なぜぶつかったのか分からない」と理由を説明できない人の比率が若者より多いのが、高齢ドライバーの特徴だ。</p> <p>来年3月には、改正道路交通法が施行され、認知症の検査が強化されるが、専門医が少ない等課題も多い。国や自治体は運転免許証の自主返納を促す取り組みをすすめているが、対策の強化を求める声は強い。国もさらなる事故防止対策を検討するため、関係省庁で構成するワーキングチームの初会合を開くなど、対策に本腰を入れ始めた。</p> <p>市としても自主返納者に、コミュニティバス無料券の贈呈をしているが、もっと踏み込んだ対策が必要と考え、質問する。</p>

質問 要 旨	<p>(1) 市における、高齢ドライバーの実態を把握しているか。(人数、返納者の人数、事故数等)</p> <p>(2) 府の返納者特典の周知方法は。</p> <p>(3) 木津川市交通安全計画の内容は。また、高齢ドライバーに配慮した計画になっているのか。</p> <p>(4) 市として、返納特典などさらなる独自の対策の考えはないか。</p>
--------------	---

2 尾崎 輝雄	
質問事項：公共施設等総合管理計画（中間案）について	
質問 要 旨	<p>1 木津川市公共施設等総合管理計画（中間案）について、今後、実行に移されると考えますが、策定過程における市の考え方は。</p> <p>2 公共建築物の保有量延べ床面積（237,605㎡）を30年間で28%削減を目指す目標であり、保育園の民営化は床面積の削減につながると思います。保育園民営化に向けた進捗状況は。</p> <p>3 木津川市公共施設等総合管理計画（中間案）においては、市は必ず施設総量の適正化に向けた目標を達成されることを願い、実現していただきたいと思えます。</p> <p>そこで質問として、市民アンケート結果によると、集会施設、文化施設、博物館等（音浄ヶ谷公園の瓦窯展示施設）、加茂プラネタリウム館、文化財整理保管センター分室、スポーツ施設、レクリエーション施設、観光施設等の重要度が低いという結果が示されています。</p> <p>集会施設は地域のコミュニティを守る、また災害時の避難対応などを考えると重要度が高いと思えますが、他の施設についてはアンケート結果のとおりであると考えます。</p> <p>この結果に対して市の考えは。</p>
質問事項：木津川右岸宇治木津線の進捗状況は	
質問 要 旨	<p>学研都市の完成に向けて、基盤整備等も着実に進められており、木津東バイパスや東中央線、木津川架橋もおおむね完成の方向へと進んでおり、一日も早く完成を願うところであります。</p> <p>この道路が完成すると次の課題としては、国道24号の慢性的な渋滞の緩和や災害時における木津川堤防を通る危険性などです。そのため、新名神高速道路へ直結する新たな道路が必要であります。</p> <p>合併以前から新たな道路整備として、城陽市・井手町と協議会を結成して国へ要望されている宇治木津線は、木津川市の地域活性化やまちづくりに、また災害面も含めて、大変重要な道路であると認識しており、早期に整備されることを願うところであります。</p> <p>市長コラムでも掲載されていましたが、宇治木津線の早期整備に関する要望もされています。</p> <p>そこで質問として、宇治木津線の整備については、現状ではどのような状況となっていますか。また、今後はどのように進んでいくのですか。お答えください。</p>

3 谷川 光男	
質問事項：災害を未然に防ぐ対策は（パート2）	
質問 要 旨	<p>災害時における情報伝達機能の強化を目的として、防災行政無線を整備されたにも関わらず、山城地域の一部では屋外拡声子局からの音声や戸別受信機の音声が聞こえない状況が発生している。本年6月定例会の私の一般質問に引き続き、その後の調査結果等について問う。</p> <p>また、局地豪雨の発生に伴い、住宅を直撃する危険なため池状況についても問う。</p> <p>(1) 記者発表された、まるごとまちごとハザードマップの山城地域の洪水標識板は、いつ設置するのか。</p> <p>(2) 防災行政無線および戸別受信機の点検結果は。</p> <p>(3) ため池の水位情報確認と避難勧告等の発令伝達は。</p>

質問事項：本年度の事業執行等の見通しは	
質問要旨	<p>今年も師走を迎え残り少なくなり、昼夜安心・安全なまちづくりと快適な生活環境の向上を目指し、市長を先頭に職員が一団となって事業執行や課題の解決に努力されていると思いますが、本年度の事業執行状況について、お尋ねします。</p> <p>(1) 本年度の予算執行は、繰り越しなく執行できるのか。またそのうち、市道大平尾神童子線道路拡幅（JR奈良線踏切付近）用地等の調査・交渉結果および木津高等学校へのアクセス道路整備の進捗状況は。</p> <p>(2) 国と市が協力して実施されている国土交通省管轄の国道24号の歩道設置事業（北河原地区・木津地区）の未買収地の交渉は進んでいるのか。また、宇治木津線道路新設の要望活動は進んでいるのか。</p>
質問事項：準用河川の整備状況は	
質問要旨	<p>現在、市が管理する準用河川は42河川あります。維持管理面で除草作業や堆積した土砂の撤去等は、地域と行政が共助で実施されていますが、護岸等の整備状況は進んでいますか。そこで、お尋ねします。</p> <p>(1) 準用河川の現状（総延長・整備率等）は。</p> <p>(2) 農地を守る農振農用地内の未整備河川の整備状況は。</p> <p>(3) 今後の整備計画はどうなっているのか。</p>
質問事項：高齢者の運転免許証自主返納者に支援の考えは	
質問要旨	<p>高齢者のドライバーによる交通事故が全国各地で相次いでいる。高速道路を逆走して衝突する事故や、登校中の児童の列に車が突っ込んだ事故などが絶えない。警察庁によると、75歳以上の自動車免許保有者数は約480万人。来年3月に施行される改正道路交通法で免許の更新時の検査により、免許の取り消しとなる高齢者も増えると見込まれる。そこで、お尋ねします。</p> <p>(1) 市内の75歳以上の免許保有者数は。</p> <p>(2) 高齢者の免許証自主返納者にタクシー券等の支援をする考えは。</p>
質問事項：木津川アートの成果と今後は	
質問要旨	<p>平成22年平城遷都1300年祭から始まった木津川アート、今年は木津川アート2016が山城地域で11月6日から15日間開催され、地域のボランティアの協力もあり、盛大なアートとなりました。私も徒歩や自転車でゆっくりまわって全てのアート会場を鑑賞することができ、また、新たな発見もあり満足いたしました。市民の感想等はどうであったのか、お尋ねします。</p> <p>(1) 木津川アート2016に来られた人数等について伺う。</p> <p>(2) 木津川アート2016山城編に来られた方の感想は。</p> <p>(3) 来年度以降の考えは。</p>

4 伊藤 紀味枝	
質問事項：高齢化社会における交通安全問題は	
質問要旨	<p>本年10月に横浜市で、高齢者の運転する軽トラックが集団登校中の列に突っ込み、小学生が死亡する痛ましい事故がありました。毎日のように高齢者による交通事故が報道されて、深刻な社会問題となっています。わずか1~2カ月間を振り返ってみても、全く無関係の人が巻き込まれる事故が相次いでおり、幼い子どもや将来のある若者が巻き添えになって命を落としたニュースには、心が痛まざりにられません。来年3月施行の改正道路交通法で、75歳以上に対する免許制度の見直しが行われますが、自主返納制度をしても多くの問題が残ります。国任せではなく、地域の実情を踏まえた対策が必要と考えます。</p> <p>(1) 高齢者の認知症対策の取り組みをどのように考えているのか。</p>

質問要旨	<p>(2) 認知症だけではなく、視野や注意力の衰えや判断力の衰えのため、本人は正常な意識を持っていたにも関わらず、結果としては過失となる場合がある。身体等の状態はトレーニング次第で、維持もしくは老化を遅らせることができる。市としての取り組みは。</p> <p>(3) 高齢になると通院や買い物等において、車でしか移動手段がない場合がある。そのため、交通手段の確保、車を利用しなくても生活ができるまちづくりが必要である。市としての取り組みは。 コミュニティバスの運賃を75歳以上は100円に下げるべきであると考えているがどうか。</p> <p>(4) 高齢者が家にひきこもることは、思考力や体力の低下などにつながるようになる。コミュニティ社会をしっかりと構築するべきであると思うが、考えは。</p>
質問事項：道路の安全性の強化は	
質問要旨	<p>本年11月に福岡市のJR博多駅前で道路が陥没しました。幸いなことにけが人はありませんでしたが、停電やガス漏れ等が発生し、周辺は全面通行止めとなりました。1週間で復旧したとはいえ、一つ間違えれば大変なことになってしまいます。</p> <p>下水道管設置後、約30年を境に急激に道路陥没が多く発生するという傾向があるとされますが、本市での実態はどのようになっていますか。</p> <p>また、対策はどのようにしていますか。</p>

5 谷口 雄一	
質問事項：保育、子育て支援のさらなる充実に向けて	
質問要旨	<p>木津川市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」・「総合戦略」が策定され、1年が経過しました。「子育て」を柱とした人口ビジョンの中長期展望と総合戦略が示されたことは、安心した子育ての充実につながると期待します。そこで、市独自の数値目標として設定された子育て未来-KPIの中から、「保育、子育てを支援するサービス」に対する満足度向上に向けた取り組みについて質問いたします。</p> <p>(1) 現在、妊娠期から子育て期までの支援については、さまざまな機関が個々に行っている。今後、ワンストップ拠点として子育て世代包括支援センターを立ち上げ、切れ目のない支援を実施するよう国が主導しているが、市の整備計画はどうか。また、先進自治体の事例研究や調査は行っているか。</p> <p>(2) 地域子育て支援拠点事業として、子育て支援センター事業、つどいのひろば事業を実施しているが、今後の利用者数の増加を見込み、事業内容の充実と体制強化の取り組みが必要では。 実態に即した効果的な整備を期待する。</p> <p>(3) 保育コンシェルジュの利用状況と成果は。より効果的な事業とするために出前講座等の検討は。</p> <p>(4) 子育て支援アプリの利用状況と効果の検証は。子育て支援サイトの作成スケジュールと期待する効果は。</p>
質問事項：木津川台地域、誘致企業の立地状況と関連する諸課題を問う	
質問要旨	<p>1 KICK（旧私のしごと館）西側に隣接する大阪ガスけいはんな用地（11ha）に、三菱東京UFJ銀行事務センターおよび、レタスを主品目とした野菜工場の（株）スプレッドが誘致されました。さらに本年3月には、日本郵政による、事務センター建設を目的とした土地購入の報道がなされ、地区中心部に残った開発用地の活用をめどが立ち、企業の誘致から連携へと新たな局面に入ると思われます。 各企業の建設工事と竣工予定と従業員規模は。また、企業との連携に向けた取り組みは。</p> <p>2 最寄りの近鉄木津川台駅は都市計画マスタープラン後期計画において、関西文化学術研究都市「精華・西木津地区」の玄関口として、アクセス道路および駅前広場の整備に向けた方針を検討するとされています。 現時点の取り組み状況は。</p>

3 木津川市・精華町・京田辺市による学研都市の行政連絡会は、精華・西木津地区を經由して精華町植田・菅井地区から木津川台へとつながる山手幹線の未着工部分、約400mの整備について国に対し財政支援の政策提案がなされています。

早期開通に向けて、府への要望や精華町との協議はどのように進んでいるのか。また、未着工の要因は。